

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 服部弘子

日時	2024年09月18日(水) 10時00分～14時15分	天候	晴れ	コース名： 第49回よりみちクラブ	
案内団体 又は催事名	「額安寺」から「太子道」を巡る			人数	大人:18名

集 合： 近鉄平端駅 10:00

ガイド： ならなぎ会員 山下裕章さん

行 程： 近鉄平端駅10時集合→額安寺五輪塔(忍性墓)→額田部窯跡→額安寺→油かけ地藏→川西町役場(トイレ休憩)→糸井神社→面塚・観世能楽発祥の地(昼食)→太子腰掛石→屏風杵築神社→伴堂杵築神社→孝霊天皇黒田廬戸宮跡→黒田大塚山古墳→近鉄黒田駅(14時15分散散) 徒歩約6km

出席者： 中澤・嶋田・山下(裕)・上森・北川・山岡・山田(一)・森・玉尾(洋)・玉尾(ひ)・樋野・村上・堀内(け)・澤井・久賀田・寺尾・武田・服部 (18名)

*近鉄平端駅

大正4年法隆寺から天理間約9kmを結ぶ天理軽便鉄道が建設された。大正11年天理線と法隆寺線が分離し、平端駅が新設された。その後、法隆寺～平端間は軽便鉄道として昭和20年まで運行。昭和27年に廃止された。

*額安寺五輪塔

額安寺の北西にある五輪塔群(8基)で、この辺りは俗に「鎌倉墓」とも呼ばれる。昭和57年の解体修理の折に、南はしの忍性墓のみが建立当初の位置を保っていることが分かった。この墓(額安寺)、竹林寺、極楽寺ともに三か所から銅製の骨蔵器が発見されている。

*額田部窯跡

鎌倉時代に額安寺を再興した時に瓦を焼くために操業したと考えられる。かつては3基の窯跡が発見されたが、周りに家が建ち、現在は覆い屋で囲まれた1基残るのみ。

*額安寺

聖徳太子がインドにある釈迦の祇園精舎に倣って、創建した仏教の修行道場「熊凝精舎」の跡地に額田部氏出身の道慈が額田部氏の氏寺として建てたとされている。現在は非常に新しい建物である。(平成17年)。銘のあるものとしては日本で2番目に古い宝篋印塔とインドのネール首相から送られた仏舎利がある。「額安寺」の名前の由来は寺伝によると推古天皇が額にできものを患われたときに、この寺に祈願して治癒したので、「額の安らかな寺」、額安寺とよぶようになったということである。

*油かけ地藏

油をかけることによって願掛けや供養をするお地藏様。
「できものが治るように」「水害が起きないように」

*糸井神社

渡来系の糸井造が綾羽(あやは)、呉羽(くれは)の両織姫を祀ったとされる。
主祭神は豊鍬入姫命。本殿は春日大社の若宮社本殿から移されたもの。
拝殿には「太鼓踊り絵馬」「おかげ参り絵馬」が飾られている。

*面塚

この地に住む「結崎清次(観阿弥)」が「結崎座」を率いて奈良・京都の寺社の祭礼に奉仕していた。ある時、京都の御前演奏の成功祈願に糸井神社に日参したら、空から、翁の面とネギが降ってくる夢を見た。そこでその場所に行ってみたら、本当に面とネギが落ちていた。その面をつけて舞うとたいそう褒めの言葉をもらったという話が残っている。また一説に村人が面とネギが降ってきたのを見つけ、その場所に面を埋めたのが面塚であるという。

***白山神社・腰掛石**

聖徳太子が法隆寺から飛鳥まで黒駒に乗って、銚子丸とともに通った太子道の途中にある。聖徳太子が銚子丸を連れ黒駒に乗った像と腰かけて休んだという石がある。向かいの屏風杵築神社には太子接待の絵馬、矢じりの井戸が残る。

また、このあたりの「屏風」という地名は太子接待のため風よけに屏風を立てたということからついた。

***屏風杵築神社・伴堂杵築神社**

祭神はどちらもスサノオノミコト。明治までは牛頭天王を祀っていたが、神仏分離令によってスサノオノミコトと変えられた。多くの神社は八坂神社や素戔鳴神社と改名したが、この地域では出雲大社の古称である杵築神社としている。どちらの神社もおかげ参りの絵馬が掲げられている。

***忍性菩薩誕生の地**

鎌倉時代の僧侶で叡尊を師として、慈善救済活動に尽力した人として「ならなぎ」では重要人物である。三宅町屏風で誕生した。生誕の地に平成 13 年に石碑が立てられた。

***孝霊天皇黒田廬戸宮跡(法楽寺)**

おとぎ話「桃太郎」のモデルとされる「吉備津彦命」は孝霊天皇の皇子。黒田廬戸宮で育ったと言われている。

***黒田大塚古墳**

古墳時代後期の前方後円墳。周濠が埋め立てられ一回り小さくなっている。

解 散 : 近鉄黒田駅 14時15分

所感等

9 月後半に入ったというのに、天気予報によると気温 35 度。良い天気恵まれたのは良かったが、暑い中大量の水分補給しながらのウォークであった。途中、ハプニングもあり、9月のよりみちは半日でも良かったかと思う。ガイドの山下さんの配慮で予定より 30 分ほど早く終わっていただき、黒田駅より王寺方面と西田原本方面に分かれて電車に乗った。

しかし、今回は始めて歩くコースでもあり、推古天皇、聖徳太子、吉備津彦命、観阿弥、忍性など有名な歴史上の人物に関係する場所でもあった。「額安寺」が「かくあんじ」と読むことを初めて知ったし、また額安寺の虚空蔵菩薩や文殊菩薩が文化庁に数億で買い上げられた裏話や条里制と条坊制の違いなど、博識な山下さんの話を興味深く聞くことができた。

黄色いアサザの花も見ることができた。

(特記事項)

途中、フジのつるについた細かいとげが目の近くにささり、保険適用の事象あり。

